

英文學評論

第 VIII 集

「マルタ島のユダヤ人」試論

——主人公バラバスの変貌—— …………… 岡田 洋 一

ドライデンの詩的展開…………… 山村 武 雄

ウィリアム・ブレイク

——「虎」—— …………… 竹 森 修

孤塔の詩人イエイツ…………… 大 浦 幸 男

京都大学教養部英語教室

目次

「マルタ島のユダヤ人」試論

——主人公バラバスの変貌——……………岡田洋一……………(一一)

ドライデンの詩的展開……………山村武雄……………(四〇)

ウィリアム・ブレイク

——「虎」——……………竹森修……………(七一)

孤塔の詩人イエイツ……………大浦幸男……………(九二)

編集後記

なるべく多くのひとに書いていただきたい、比較的最近に書いておられない方にはとくにお願いしたい——こういう方針で本号の編集をすすめてきたのですが、結局四篇の論文をおさめるにとどまりました。

本年度はじめには、池田義一郎氏が東海大学へ、山川鴻三氏が阪大へ転出されましたが、お二人のあとへ、文字どおり新鋭の、岡田洋一、尾崎寄春、竹森修の三氏をむかえ、教室の空気が一段と清新さを加えることとなりました。

竹森、岡田両氏からは、さっそくそれぞれかねてから深くおもいをひそめられている問題について苦心の論稿を寄せていただきました。

山村武雄氏の論文は先号からつづいて、本号で完結しました。氏はこれを書きおいて、オクスフォードへ旅立たれたのですが、昨年十月、無事帰朝されました。ウイレー、リーシュマン、ダーシーなどの碩学についての御勉強の成果はやがて本誌をも飾ることでしょう。

オクスフォードといえば、目下、レン教授の下で御研究中の佐々部英男氏の御健勝を祈ります。

大浦幸男氏の作品は三百数十枚におよぶイェイツ論の第四章と第五章とに相当する部分です。先々号から掲さいのはじまつたこの大論文は次号で完結の見込みです。

本誌は本年度から年二回発刊ということになったので、ひきつづき第九号を準備しています。

(編集委員)

英文学評論 第八集

非売品

昭和三十六年二月二十五日 印刷
昭和三十六年二月二十八日 発行

編集者

京都大学教養部英語教室

代表者 中野正順

印刷所

内外印刷株式会社

京都市下京区西洞院七条下ル

発行所

京都大学教養部英語教室

京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

VOL. VIII. February 1961

CONTENTS

An Essay on *The Jew of Malta*

—The Transformation of Barabas, the Hero—..... *Yoichi Okada*

The Comparative Study of Dryden's Imagery *Takeo Yamamura*

William Blake: *The Tyger* *Osamu Takemori*

W. B. Yeats, Poet of the Lonely Tower (3) *Yukio Oura*

ENGLISH DEPARTMENT
COLLEGE OF LIBERAL ARTS
KYOTO UNIVERSITY